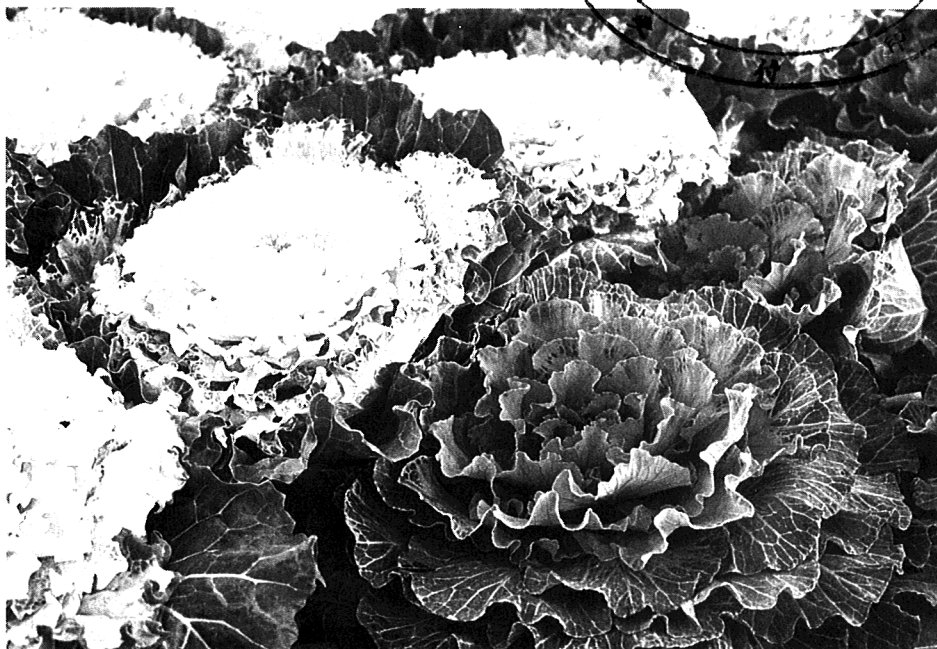
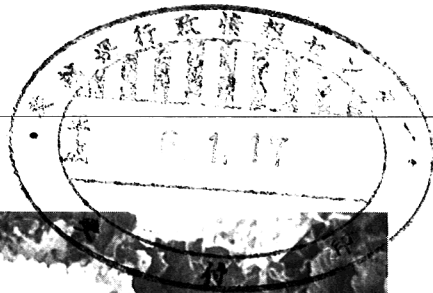


歳

時

記



ハボタン（葉牡丹）

冬を迎え、寒さがひとしお厳しさを増す頃、紅紫や白に美しく色づいてくるハボタンは、ほとんどの草花が姿を消す中であって、花壇に色彩をそえてくれる貴重な存在です。

キャベツと同じアブラナ科の野菜ですが、ボタンの花を思わせるように葉姿が美しいため、この名がつけました。

原産地はヨーロッパで、日本へは江戸時代に渡来しましたが、当初はそれほど美しいものではなく、日本で栽培改良され、今日のような色彩の変化に富む園芸品種となりました。本家のヨーロッパでは改良が進んでいないため、日本のハボタンを見て驚嘆する外国人が多いそうです。

「葉牡丹の冬によろしき株立は

紫ふかし葉をかさねつつ」

北 原 白 秋

さ

い

じ

き